

ひとりで悩まないで！

相談に乗ってくれる
人々は
こんなにいます

本当に、愛犬を
手放さなければ
ならないのでしようか

犬を継続して飼えなくなる理由

は、さまざまです。転勤先で犬を飼えない。家族がアレルギーになった。飼い主が入院（または死去）した。失業した、等々。こうした家庭の事情もあれば、犬が家族を咬んで手に負えない。吠え続けて近隣トラブルになった。不治の病にかかりました。高齢で痴呆になつたなど、犬の問題行動や病気に悩む人もいます。

家族として迎え、ともに暮らした愛犬のことです。ひとりで悩んだり、飼育放棄する前に、飼い主として、まだ何かできることがあるのではないかでしょくか。

問題が生じたら、もう飼えないとあきらめる前に、身近な人や専門家に相談しましょう。まずは、獣医師やトリマーと話してみてください。

その他、動物看護師、ドッグライフカウンセラー、ドッグトレーナーなど、ペット問題の専門家もいますので、インターネットなどで調べてみてもいいでしょう。

相談内容によつては、しかるべき専門家を紹介してくれることもあります。また地方自治体の動物愛護（管理）センターなどでも相談に乗ってくれます。飼い主仲間にも、同じ悩みを分かち合える人がいるでしょく。第三者に話すことで、解決策が見つかることも。理解者を得て、情報の輪が広がることも期待できます。